



Beyond KUSS , 2023 !!



共通テスト模試から中間考査

文化祭が終わると、共通テスト模試、中間考査と生徒のみなさんにとって気持ちのうで負担となることが続きます。運動部の人たちは、県高校総体競技が重なる場合もあります。共通テスト模試については、すべての受験を終えていない人が20名以上います。5月から6月にかけては、忙しい毎日になっていますね。

共通テスト模試受験前、模試を有効に利用するために下記のことを伝えていきます。自己採点の際、意識していただいでしょうか。

- (1) 「記号で解答するから、なんとかなるだろう」という考えの人は要注意。共通テストは、「大学に入学を志願する者の高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定することを主たる目的」とし、「大学教育の基礎力となる知識・技能や思考力、判断力、表現力等を問う」問題を作成しています。模試の問題作成もこれを前提としています。高得点のためには、基礎・基本の定着が最重要課題です。
- (2) 自己採点と次への準備 共通テスト模試は自己採点できます。自己採点は、自分の現状を知るために行います。現状を理解し、次への準備を行います。問題冊子に解答を控える際、根拠をもち自信を持って解答したら「◎」、根拠を示すことはできないが自信のある解答は「○」、複数候補で悩んだ解答は「△」、とりあえず解答したら「□」のように区別します。どの記号でどれだけ得点できたか確認しましょう。「◎」は「理解正解」、「○」「△」は「不安正解」、「□」は「偶然正解」。「不安正解」の問題・分野を「理解正解」にすることが重要です。「偶然正解」は不得意・苦手分野、改善が必要です。

まだ受験が続いている人は無理ですし、中間考査に向けての学習に切り替えている人も時間的に難しいですね。しかし、中間考査後は必ず、共通テスト模試と中間考査を見直してください。この2つは夏季休業中にどの科目・どの分野に時間を費やす必要があるかを考える重要な材料になります。

夏季休業など授業のない期間は、自分のペースで学習を進めることができます。その期間に主体的に学ぶことができる人と、できない人では、残念ながら実力定着に大きな差が開いていきます。

前号でもお知らせしましたが、「夏期講習を受講するから大丈夫」と安易に考えている人は要注意です。夏期講習を申し込んでいる人、自分にとって必要な受講になっていますか。

「定期考査がよくても意味がない」と言う人もいます。しかし、定期考査で十分な得点をとることができず、模試だけ高得点という状況は、現実的にはなかなかありません。一定の相関関係があるのは、本校のデータから間違いありません。

定期考査や模擬試験、自分で目標を設定し、それに向けて確かな学びを継続することが第1段階です。受験後に自分の学びと結果を分析し、不十分な点を把握し、次回の受験に向けての学習に役立てることが第2段階です。第1段階で足踏みしている人、もう一度自分の将来を考えましょう。

努力は実力上昇につながります。努力に適した時間の使い方を心がけましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2023 !』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。